

# 一之江境川親水公園・左近川親水緑道

親水河川では自然水を取り入れ、護岸も自然な  
かたちにしていてのいろいろな生き物がたくさん  
すんでいます。またほかにはすんでいない生き物  
も見られます。さいきんではブラックバスなどの  
外来種が発見され在来種が少なくなってしまう  
のではと心配されています。



**モツゴ (クチボソ)**

出会い度：★★★★★

大きくなると10センチくらいになります。  
はんしょくり力が強い魚です。



**ニゴイ (幼魚)**

出会い度：★★★★★ 川の中・下流にすみ、大きなものは40cm以上にもなります。



**メダカ**

出会い度：★★★★★ なくなってしまうと言われていたが、各地のほご運動により、だんだんふえてきています。



**コイ**

出会い度：★★★★★

あたたかい水をこのみます。日本では昔からよく食べられています。



**セイゴ**

出会い度：★★★★★

スズキの小さい時の名前。少し大きくなると「フッコ」と呼ばれています。



**チチブ**

出会い度：★★★★★

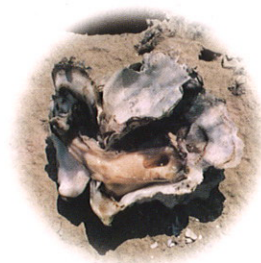
「ダボハゼ」ともよばれている魚で、区内の水辺でよく見られます。にたなかが多い魚です。



**テナガエビ**

出会い度：★★★★★

水のながれがゆるやかな、すなやどろのある場所にすんでいます。オスのハサミはとても大きく長くなります。



**ケフサイソガニ**

出会い度：★★★★★

河口や海岸の岩場やブロックのまわりに多く、オスはハサミの間に毛がはえています。

**マガキ**

出会い度：★★★★★

カキがたくさんいる岩場は、カニなどの生物のかくれ場・エサ場にもなっています。



**ヤマトシジミ**

出会い度：★★★★★

みそしると言えば「シジミ」と言う人が多いほど日本では昔からよく食べられています。

**ウロハゼ**

出会い度：★★★★★

つき出た下あごがとくちょう。昼は岩かげでじっとしていることが多く、夜にはエビなどを食べます。

淡水  
(大河川)

淡水  
(親水公園  
や緑道)

汽水  
(大河川)

汽水  
(親水公園  
や緑道)

海水

家の  
まわり

川や池

河川敷

干潟

海

調べてみよう

外来種の生き物がすみつくとなぜ在来種が少なくなるのだろう？

